WebClient開発支援機能について

1 日的

① 現状

WebClientは、Angularを搭載したSPA型のWebアプリケーションを構築可能にする MAGIC xpa Ver4になって実装された画期的な機能です。 画面デザインとロジックを分離できるメリットがある反面、MAGICとAngularの二重のソースコードの管理が必要になります。 このソースの二重管理をどのように解消するかということが特に開発の初期の局面での大きな課題となります。 これはAngularプロジェクトを作成するための処理「Webアプリケーションの作成」が次のようなMAGICの仕様に起因しています。

- ・基本的にAngularソースの生成が「MAGIC → Angular」の一方向である
 ・既に作成してあるAngularソース(*html、*ts)を(修正の有無に関わらず)無条件に上書きしてしまう
 ・プログラム単位でしかソース作成できない。変更したサブタスク(フォーム)のみの更新ができないため、他の箇所も上書きしてしまわないような注意が必要
 ・MAGICのフォーム名、フォルダ名等を変更した時のAngularソースの変更は基本的に手作業で行わなければならない
 (前の名前で残ったソース部分を除去する必要がある)

この結果、MAGIC側のロジックの完成度を高めたのちにAngularでの開発に移行するなど、設計変更を極力避ける必要に迫られることになります。

一般的なWeb Client アプリケーション開発の流れ



② 解決案

若干漠然とはしていますが、下記のようなシステムの作成と利用により、プロトタイプ作成に必要なレベルでの自動化を目指します。

- ・ VS Code等によるソースの修正をしないで済むような環境設定、ソース改変の自動化 ・ デザイン情報のデータ化、ひな形のテンプレート化 ・ リポジトリ情報の積極的な利用





③ カバーする範囲(構想レベル)

Angular環境構築 npmモジュールの選択とインストール、angular.jsonの設定、src/index.htmlの設定、src/styles.cssの設定、その他 ナビゲーションバーの作成 テンプレートの定義、メニューの定義、自動作成、 サイドメニューの作成 メニューの定義、ロジックの組み込み パンくずリストの作成 メニューの定義、ロジックの組み込み フォーム別のテンプレートの変換(ダイアログ系) インラインフォームを利用したフォーム

フォーム別のテンプレートの変換(テーブル系) 変換ルールの定義、変換ルールの選択による変換 ロジックの追加

→「2. フォーム別のテンプレートの変換(サンプルプログラム)」を参照

2 フォーム別のテンプレートの変換(サンプルプログラム)

①概要

当プログラムは、MAGICが出力したテンプレートファイルのHTMLをタグ単位でダイナミックに変更することが可能です。 MAGICのフォーム単位に変換処理を実行することが可能です。 変換ルールを指定して実行することが可能で、変換ルールは、一連のHTMLタグに対する処理をひとつのルールとして登録します。

要素名を書き替え 子要素を作成/親要素を作成 属性の追加/削除 属性値の追加/変更 リポジトリ情報からテーブルヘッダ部を生成

サンプルプログラムでは、特定の条件で作成されたプログラムに対する変換をサポートしています。

Web設定のテーマが「ネイティブ」 テーブルが配置されたフォーム テーブルのWebスタイルが「繰り返し可能な項目」でスクロールバーが「True」

サンプルプログラムで用意しているテンプレートは下記のものです。

1	サンプル TABLE変換	BootstrapのTABLEクラスを使った構造に変換します
		またヘッダをフォーム情報から自動的に追加します
2	サンプル CARD変換	BootstrapのCARDクラスを使った構造に変換し表形式で表示します
		またヘッダをフォーム情報から自動的に追加します





2 実行手順

チュートリアル的にインストール直後からのWebデザインを変更するまでの操作の流れについて説明します。

1) ソース管理ツールの起動

WebClientで作成している目的のプロジェクトをMAGIC xpa 開発版で開きます。 プルダウンメニュー「ツール(T)」から「ソース管理ツール SMSYS(S)」を選択しアプリケーションを起動します。



2) データベース定義変更

プルダウンメニューから「環境設定(Q)」を実行します。 更に「データ定義」タブを選択し、「DB設定」ボタンを押してください。

⑦ 環境設定		
1:WAGIC支数 2:ソース解析ツール]	終了(0)
32757489° (XSMSYSX)	C:MProgram Files (x88)MMagicxpaWStudio 4.7W4dd_OnWSOURCE_MWNW	
9-9-3-9-2 (XSNSRCX)	C: #Projects#SAMPLE#Source#	れ、ーシ、モン語報道 コキロ・バーカトー・単数
1:動作条件 2:データ定義 8:1	フォント・表示色	7 HJ 1/1 JA
フ*ログ*うと角罕初行ディーク		
τ°~?\^~	Memory V Deligiz	
位置		
サーバー		
DB名	SOI系のDBMSを選択するため	

データベースからSQL系のDBMS(SQL Server/SQLite)を選択します。

データペース(SMSYSDB)	4:SQLite		Q K
位置	SAMPLE.SQLite		44)68(0
ディータヘィースサール。			
2-5"名			
z-#****		'3:SQL Server」'4:SQLite」に変更します。	
DB:45			

「OK」ボタンを押すとシステムの再起動を促すメッセージが表示されるので、指示に従い再起動します。

3) プログラムソースの一括読込

再起動後、表示メニューから「プログラム」を選択します。

#B###D3*D3*_bk	CANDLE	(書)3 西(書)3	ppn i terr	終了
ARATON IN THE	SAMPLE	V 5000 MADDO	110018.42	7°ロジェクトファイ
<u>ጋ" በጋ" ቋንዮ /ምብ</u> ቆ	U:#Projects#SAMPLE#SAMPLE.edp			<u>ተ</u> ኑን፦ሳ
				ī
モデル	コンポーネント	7°时"礼一括読込	データソース一括読込	基本 火斗
データソース	DBMSユーザ	7*05*56925	ティータソース作業単位	
プログラム	フィレークホッイント情報	7°19°5k - €9°%		オフ・ションメニュー
ヘルブ		ファロクッラム - ティークソース	プロジェウト比較	
權利		7°05°56 - 7°05°56	エクスホペートソース変換	
×==-		フッログ法検索ルト		

「一括更新」ボタンを使ってプログラムソースを読み込ませます。

ログラム一覧							×		
向履歴		最終更新:P\$6_StartP	rogram (2	021/10/21	15:45:48)	一括更新	Б		
a 名称	フォルダ	公開名	外部	更新日付	時刻	id CR		~ -	−括更新ボタンを押すと、ブログラ.
▶ メインブログラム	1000		_	2019/12/10	14:14:06	1		7	を全て読み込んで最新のデータに
2 Rich Client - CapitalCities	Adain			2019/12/20	16:16:35	2		1	却させることが可能です
3 City1	Admin			2019/12/20	17:23:36	3		Ľ	
4 City2	Admin			2019/12/23	13:38:33	4			
5 City3	Adain			2021/10/21	15:45:30	10			
6 StartProgram	Main			2021/10/21	15:45:48	5			
7 Losin	Main			2019/12/19	17:00:27	6			
8 Velcome	Main			2019/12/19	17:33:24	7			
9 Logout	Main			2019/12/20	10:11:26	8			
10 Inport - CapitalCities	Batch			2019/10/18	17:42:38	9			
							_		

処理済のプログラムは更新日付、時刻の色が変わります。

プログラム一覧			-		
前回履歴	~	最終更新:P#8_StartProgra	m (2021/10/21 15:45:48)	一括更新	
Na. 名称	フォルダ	公開名 夕	ト部 更新日付 時刻	id CR	
▮ メインブログラム			2019/12/10 14:14:06	1	
2 Rich Client - CapitalCities	Admin		2019/12/20 16:16:35	2	
3 City1	Admin		2019/12/20 17:23:36	* 🧹	── コール関係があるプログラムに
4 City2	Admin		2019/12/23 13:38:33	4	け関連確認のためのぜないた
5 City3	Admin		2021/10/21 15:45:30	10	
6 StartProgram	Main		2021/10/21 15:45:48	5	示します。
7 Login	Main		2019/12/19 17:00:27	6	
8 Welcome	Main		2019/12/19 17:33:24	7	
9 Logout	Main		2019/12/20 10:11:26	8	
10 Import - CapitalCities	Batch		2019/10/18 17:42:38	9	

4) ルーティング情報

プルダウンメニュー「ファイル(F)」から「ルーティング情報」を実行します。 「全フォーム」ボタンを押します。

D2*.9 E-f4**2.h 作者 1 更新時期 2021/10/21 15:45 ・上空専門師 ・ ・ 上空専門師 ・ ・ 日本・1001 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	的'站名 Star	tProgram	~	P# 6	74-6名	StartPro	gram	サフ・フォーム名	Subform1		ルート呼出
カール先名 カールチ名 ガスタムパド オールチ名 出力先 文I ヘー・ト名 出力洗 文I ヘー・ト名 出力洗 文I カールチ名 出力洗 文I カールチ名 出力洗 文I クォルグ オールグ 気が 気が 気が 気が カールチ名 出力洗 文I クォルグ オールグ 気が 気が しょう クォルグ オールグ 気が 気が いっしょう クォルグ オールグ 気が こうれん こうれん こうれん こうれん こうれん こうれん こうれん こうれん	ወን" ₂ ሳ E= ሰሳ	*`>+/II-+	î	TI 1	更新時刻	2021/10/	21 15:45				カスタムプロ
注 → 847()* 番号 → - 小 元名 川 小 十名 川 丁 式 条件 フォルグ 最終更新時刻 4 P>70707-30 7 Login Login Login Main 2019/12/21 17:00 5 P>7007-30 8 Velcone Melicone Main 2019/12/21 17:01 6 P>7007-30 8 Logout Logout Main 2019/12/21 10:11 7 P>7007-30 8 Logout Logout Main 2019/12/20 10:11 8 P>7007-30 8 City1 City2 City2 Admin 2019/12/20 17:23 8 P>7007-30 8 City1 City2 City2 Admin 2019/12/20 17:23 9 P>7007-30 5 City2 City2 City2 Admin 2019/12/20 17:23 9 P>7007-30 5 City2 City2 City2 Admin 2019/12/20 17:23 9 P>7007-30 5 City2 City2 City2 Admin 2019/12/20 17:23 9 P>7007-30 5 City2 City2 City2 Admin 2017/10/21 15:45 9 P>7007-30 5 City3 City2 City2 City2 Admin 2017/10/21 15:45 7 Au/Citu75-L F# 7a-L6 9/0/*09/0* 7-7*///Meb2/4 Admin	ト定義明細										カスタムバリ
4 p-2γ20γ3µ 7 Locin Locin Main 2019/12/19 17:20 5 p-2γ20γ3µ 8 Velcome Main 2019/12/19 17:33 p-2γ20γ3µ 8 Locout Locin Main 2019/12/19 17:33 p-2γ20γ3µ 8 Locout Locin Main 2019/12/19 17:33 p-2γ20γ3µ 8 Locout Locin Main 2019/12/20 17:23 8 p-2γ20γ3µ 4 City2 City3 Locin 2019/12/20 17:23 9 p-2γ20γ3µ 5 City3 City3 Locin Admin 2019/12/20 17:23 9 p-2γ20γ3µ 5 City3 City3 Locin Locin Admin 2019/12/20 17:23 9 p-2γ20γ3µ 5 City3 City3 Locin Locin Locin Locin 2019/12/20 17:23 9 p-2γ20γ3µ 5 City3 City3 Locin	# 3-16977°	番号 コ	ール先名	ルー	- ト名	出力先	\$72	条件	フォルダ	最終更新時刻	
5 p-37tg3/10 8 Melcone Melcone Melcone Main 2019/12/19 17:33 6 p-37tg3/10 9 Clty1 Logout Logout Clty2 2019/12/20 10:11 7 p-37tg3/10 8 Clty1 Clty2 Clty2 Clty2 2019/12/20 10:12/20 10:11/20 9 p-37tg3/10 8 Clty2 Clty2 Clty2 Clty2 2019/12/20 10:32 10:32 9 p-37tg3/10 5 Clty2 Clty2 Clty2 Clty2 Clty2 2019/12/20 10:34 10:34 9 p-37tg3/10 5 Clty2 Clty3 Clty3 Clty3 2019/12/20 10:34 10:34 10:34 10:34 10:34 10:34 10:34 10:34 10:34 10:34 10:34 10:34 10:34 10:34 10:34 10:34 10:34 10:34 10:34 10:34 10:34 10:34 10:34 10:34 10:34 10:34 10:34 10:34 10:34 10:34 10:34 10:34 10:34 10:34 10:34 10:34 10:34 10:34 10:34 10:34 10:34 10:34	4 P=プログラム	7 Login		Login					Main	2019/12/19 17:00	1
6 p-3/mg/3/s 3 Locout Locout Main 2019/12/20 10:11 7 p-3/mg/3/s 3 City1 City1 City1 Admin 2019/12/20 17:23 9 p-3/mg/3/s 5 City3 City2 City2 Admin 2019/12/23 19:39 9 p-3/mg/3/s 5 City3 City	5 P=7°D7°5&	8 Welcome		#elcome					Main	2019/12/19 17:33	
7 p=2ym2y*34 3 01ty1 City1 Admin 2018/12/20 17:23 8 p=2ym2y*34 4 City2 City2 Admin 2018/12/20 17:23 9 p=2ym2y*34 5 City3 City3 Admin 2018/12/20 17:23 9 p=2ym2y*34 5 City3 City3 Admin 2018/12/20 17:23 9 p=2ym2y*34 5 City3 City3 Admin 2019/12/20 15:45 9 p=2ym2y*34 5 City3 City3 Admin 2021/10/21 15:45 9 p=2ym2y*34 5 City3 F# 72m2/42 F# 72m2/42 9 p=2ym2y*34 5 City3 92/2 F# 72m2/42 F# 9 p=2ym2y*34 102/2 102/2 102/2 102/2 102/2 9 p=2ym2y*34 102/2 102/2 102/2 102/2 102/2	6 P=7°D5°5&	9 Logout		Losout					Main	2019/12/20 10:11	
8 P= 2 ⁻ 20 ⁻ 5 ⁻ ₂ 4 City2 City2 Admin 2019/12/23 13:38 9 P= 2 ⁻ 20 ⁻ 5 ⁻ ₂ City3 City3 City3 Admin 2021/10/21 15:45 2 datin 2019/12/23 13:38 2 datin 2019/23 14 2 datin 2019/	7 P=7°D)*56	3 City1		City1					Admin	2019/12/20 17:28	
9 P= 27 127 134 5 City3 City3 City3 Admin 2021/10/21 15:45 	8 P=7°D5°56	4 City2		City2					Admin	2019/12/23 13:38	
フォーム(プログラム) Pit フ*ロが泳名 922年 925年 7月 フォーム名 9/2)ド'99/7* テーフ*ル/Web29/6 処理 7 Log In 2 Log In Dr5*73kh	9 P=7°p7°56	5 City3		City8					Admin	2021/10/21 15:45	
- フォーム(ブログラム) P性 7*ロゲ3& 922年 925年 74-10-10 処理 7 Log In 2 Log In Dr5*734k											
- フォーム(プログラム) アオーム(プログラム) アオーム(プログラム) アオーム(プログラム) ア 1 つ*10%3&6 932# 932%6 F# フォール名 9/2)+*99/7* チーフ*6/Web32%6 処理 7 Log in D5*27345											
フォーム(プログラム) P# 7*0が34名 922# 925名 F# 7a+b名 9/2F*99/7* 7-7*6/Web2966 処理 7 Log In 2 Log In D=5*7366											
- フォーム(ブログラム) P1 フ*ロゲ%名 タスク指 タスク名 F# フォーレ名 9/フト*クタイフ* テーフ*ル/Nebス?f/L 処理 7 Log In 2 Log In D=5*フォルk											
フォーム(ブログラム) P# 7*ロか*泳名 タスク# 52か名 F# 2#-b名 9/フト*ク9/フ* テーブル/Web2か仏 処理 7 Locin D=デフậム											
:フォーム(ブログラム) P性 7/ロゲ%名 52/加 52/26 F# 7#も名 9/0ド/9/07 テーア16/Web23/6/ 処理 7 Login D=デン7#ム											
PE 7'10'がんち 932年 932年 7年 7ましち 912がっ テンドル/Web3261 処理 7 Login 2 Login D=デン346	フォーム(ブロ	グラム)									
7 Losin 2 Losin 0=7*77#	P# 7	°巾ŕ汕名	97,0#	奴り名	F#	71-	山名	ሳብንት፣ሳንብን*	7~7°∥/Web	294 処理	
	7 Login				2	Login		D=テ゚フォルト			

テンプレートファイルの変換を実行するために、「変換」ボタンを押して処理画面を開きます。

ブログ 汕名	11-1-1	HI 7allo [*]	タスクロ	切り名	最終更新時刻	F#	7+6名	ウイント*ウライフ*	テーブル/₩ebスタイル	処理
B City1	V	Admin			2019/12/20 17:23	2	City1	D=7°7#61	M=マテリアルテドサドインクドリットド	
4 City2	V	Admin			2019/12/23 13:38	2	City2	D=7*7#61	H=HTNL;-7°6	
6 StartProgram		Main			2021/10/21 15:45	2	StartProgram	D=7*7#61		
7 Login	v	Main			2019/12/19 17:00	2	Losin	D=7°7#61		
8 Velcone	V	Main			2019/12/19 17:33	2	Velcone	D=7°7#61		
9 Losout	V	Main			2019/12/20 10:11	2	Losout	D=デフォルト		
5 City3	V	Admin			2021/10/21 15:45	2	City3	D=デフォルト	R=繰り返し可能な項目	
									/	
										/
										·
							サン	パルモー	・ドではWebスタ	イ
							ルた	バ _{R=} 繰り	返し可能な項目	コに
							指定	ミュ ナーテー	ブルのあスプロ	バ
								ししに)		÷
							74	ムー変換小	マノを衣示しま	9 。

①基本手順

変換処理を実行するための各種条件を指定します。

	テンプレート変換(評価	用サンブルブログラム〉	
ドキュメントフォルダ 」 C ファイルの変換	¥Projects¥SAMPLE¥ng¥SAMPLE¥src¥app¥magi	c₩Admin¥City3	実行(<u>0</u>) キャン地(<u>C</u>)
変換元ファイル名 変換先ファイル名 変換ルールID	City3.component.html City3.component.sm.html	新規 2 支換処理実行	VSCode 7:11
SSファイルの作成		変換ルールを選択するには「F5:ズ-	ーム」します。
作成ファイル	./City8.component.css	<u>なし</u> CSS77/11/作成	
テーブル高さ	」 PxCSS更新済		
Sファイルの定義			
現在のTemplate定義	./City3.component.html		変更を戻
変更するTemplate定義	./City8.component.sm.html	相違 「TSの定義を変更	

ドキュメントフォルダ	ドキュメントフォルダのフルパスを表示します
ファイルの変換	テンプレートの変換処理に関する指示を行います
変換元ファイル名	MAGICで出力されるファイルの名称を表示します
変換先ファイル名	当プログラムで作成するファイル名を表示します
変換ルールID	変換ルールのIDを指定します
状態表示、変換処理実行チェック	ファイルが未作成か作成済みかの表示、処理の実行を指示します
CSSファイルの作成	CSSファイルの作成に関する指示を行います
作成ファイル	作成するCSSファイルの名称を表示します
状態表示、CSSファイル作成チェック	ファイルの有無、作成処理実行を指定します
テーブル高さ	CSSファイルで指示するテーブルの高さを指定します
CSS更新済	CSSファイルでテーブルの高さが指定済かどうかを表示します
TSファイルの定義	TSファイルの定義に関する指示を行います
現在のTemplate定義	TSファイル中、現在設定されているTemplateの値を表示します
変更するTemplate定義	変更するTemplateの値を表示します
状態表示、TSの定義を変更	一致/不一致、定義変更の実行を指示します
CSS定義済み	変更すべきTemplateの値が定義済みかどうかを表示します

変換ルールの選択

-		
	# タイトル	コメント ば
	↓ サンブル TABLE変換	BootstrapのTABLEクラスを使った構造に変換します。またヘッダをフォーム情報から自動
	2 サンプル CARD変換	BootstrapのCARDクラスを使った構造に変換し表形式で表示します。またヘッダをフォーム
	コメント BootstrapのTABLEク	マラス変使った構造に変換します。
	またヘッタをフォー	- ム情報版から自動的につ互加します。

処理実行

	テンブレート変換(評価用サン		変換処理の指示が済んだら実行ボタンを押	
ドキュメントフォルダ 〔 ファイルの変換	∷¥Projects¥SAMPLE¥ng¥SAMPLE¥src¥app¥magic¥Adm	in¥City3	実行(<u>0</u>) キャンセル(<u>C</u>)	します。 、この例では、①新しく
変換元ファイル名 変換先ファイル名 変換ルールID	City3.component.html City3.component.sm.html には3.component.sm.html	新規「又換処理実行	VSCode で比較	「City3.component.html」が作成され、TSファ イル「City3.component.ts」のTemplate定義 が「./City3.component.sm.html」に書き換え られます。
388ファイルの作成 作成ファイル テーブル高さ	↓ 「/City3.component.css 」 ①] px ○ CSS更新济済	【なし】 【 CSS7711以作成		
TSファイルの定義				
現在のTemplate定義	./City3.component.html		変更を戻す	
変更するTemplate定義	」「/City3.component.sm.html CSS定義済み	相違 「 「 Sの定義を変更		

変換結果



テーブル高さ指定(CSSの自動作成)

再度、同一の処理を呼び出します。 「CSSファイル作成」にチェックを入れ、テーブルの高さを入力します。

) テンプレートの変換 - サンプル版				
	テンブレート変換(評価用サンプ)	レプログラム)		
ドキュメントフォルダ	C:#Projects#SAMPLE¥ng#SAMPLE¥src¥app¥magic¥Admin#C	iity8	実行(0)	
ファイルの変換			‡+)⊅lk(C) ⁰	
変換元ファイル名	City3.component.html			
変換先ファイル名	City8.component.sm.html	作成済 文換処理実行	VSCodeで比較	
変換ルールID	1 サンブル TABLE変換			
CSSファイルの作成 作成ファイル テーブル高さ	./City9.component.css 300[px ○CS週新済	なし <mark>ジ CSS7711/16成</mark>		「CSSファイル作成」にチェックを入れてテーブ ルの高さを入力します。
TSファイルの定義				
現在のTemplate定義	./City3.component.sm.html		変更を戻す	
変更するTemplate定義	./City3.component.sm.html	相違		
-1	CSS定義済み	いか遅択できません。		↓ CSS未定義の状態から使用する設定に指示 ↓ した場合、自動的にチェックが入ります。
	複雑なフォームの場合、想定した変換結果にならない	かもしれません。		

変換結果





③ VS Codeによる変換結果の確認

テンプレートの変換 - サンプル版				
	テンプレート変換(評価用サン	ノブルブログラム〉		
ドキュメントフォルダ	C:\Projects\SAMPLE\ng\SAMPLE\src\app\magic\Adm	in¥City8	実行(0)	
ファイルの変換			‡+)₽⊮(<u>C</u>)	
変換元ファイル名	City8.component.html			
変換先ファイル名	City3.component.sm.html	(作成済) □変換処理実行	VSCodeで比較	┘ 変換元のファイルと変換後のファイルを比較
変換ルールID	1 サンブル TABLE変換			することが可能です。
CSSファイルの作成				
作成ファイル	./City3.component.css	作成済 🗌 CSS7ァイル作成		
テーブル高さ	300 PX			
	☑CSS更新済			
TSファイルの定義				
現在のTemplate定義	./City3.component.sm.html		変更を戻す	
変更するTemplate定義	./City3.component.sm.html	修正済 TSの定義を変更		
	☑ CSS定義済み			
JL	1グラムの制限:変換ルールはサンブル提供したもの	のみしか選択できません。	_	

ファイル比較モードでVS Codeが起動します。



④ CARDクラスを使用した変換ルール

もう一つの変換ルールを選択し、変換したときの例を示します。

-		
	# タイトル	コメント
	1 サンブル TABLE変換	BootstrapのTABLEクラスを使った構造に変換します。またヘッダをフォーム情報から自動
	💡 サンブル CARD変換	BootstrapのCARDクラスを使った構造に変換し表形式で表示します。またヘッダをフォーム
	BootstrapUCARUク またヘッダをフォー	ラ人を使った傾回に変換し表形式で表示します。 −ム情報から自動的に追加します。

変換結果



VS Codeによる比較



⑤ コンテキストメニューからのVisual Studio Codeの起動

コンテキストメニューから「Visual Studio Codeで開く」を起動することが可能です。

	テンプレート変換(評価用サンブルブロ	コグラム)		
ドキュメントフォルダ C ファイルの変換	₩Projects¥SAMPLE¥ng¥SAMPLE¥src¥app¥magic¥Admin¥City3		2	宝行(n) 元に戻す(U)
変換元ファイル名 変換先ファイル名	City3.component.html City3.component.sm.html	作成済 工変換処理実行	8 1 1	切り取り(X) コピー(C) 貼り付け(V)
変換ルールID] 1 サンブル TABLE変換			すべて選択(A) ズ - ム(Z)
SSファイルの作成			ß	Visual Studio Codeで開く
作成ファイル	./City3.component.css	作成済 □ CSS7ァ仙作成		ソースフォルダ を開く
テーブル高さ	」 px ☑CSS更新済			
「Sファイルの定義				
現在のTemplate定義	./City3.component.sm.html	変更を戻す 修正済 TSの定義を変更		
変更するTemplate定義	./City8.component.sm.html			
	✓ CSS定義済み			
プログ	ジラムの制限:変換ルールはサンブル提供したもののみしか	選択できません。		

コンテキストメニューを呼び出したコントロールによって、呼び出すファイルが変わります。

ドキュメントフォルダ	TSファイルで指定されたTemplateファイル
変換元ファイル名	変換元のファイル(MAGICが出力したファイル)
変換先ファイル名	(出力済みのとき)変換先のファイル
CSSファイル	(出力済みのとき)CSSファイル
「TSファイルの定義」部分	TSファイル

⑥「変更を戻す」ボタン

「変更を戻す」ボタンにより変換したテンプレートの適用を戻すことが可能です。

🕐 テンプレートの変換 - サンプル版			
	テンプレート変換(評価用サン	ブルブログラム)	
ドキュメントフォルダC	:¥Projects¥SAMPLE¥ng¥SAMPLE¥src¥app¥magic¥Admi	n¥City8	実行(0)
ファイルの変換			‡+)bl/(<u>C</u>)
変換元ファイル名	City8.component.html		「変更を戻す」ボタンにより エSファイルの
変換先ファイル名	City8.component.sm.html	作成済 回変換処理実行	Template定義(templateUrl)をMAGICが出土
変換ルールID] [1] サンブル TABLE変換		ートナリジナルのファイルに同します
CSSファイルの作成 作成ファイル テーブル高さ	./City9.component.css	(作5成)済 🔲 CSS77416/f5成	CSSの定義 (styleUrls) や他の追加編集等か あっても書き換えません。
TSファイルの定義	✓CSS運動;済		
現在のTemplate定義	/City3.component.sm.html		変更を戻す
変更するTemplate定義	./City3.component.sm.html	修正済 ISの定義を変更	
	☑ CSS定義済み		
לם: 	ジラムの制限:変換ルールはサンブル提供したもの。 複雑なフォームの場合、想定した変換結果にならな	のみしか選択できません。 に かもしれません。	

再度プログラムを呼び出すと、Template定義の差異を検出するため、「**TSの定義を変更**」にチェックされた状態で起動します。 変換したテンプレートを適用するには「実行」ボタンを押します。

テンプレートの変換 - サンプル版				
	テンプレート変換(評価用	サンブルブログラム)		
ドキュメントフォルダ	C:#Projects#SAMPLE¥ng#SAMPLE¥src¥app¥magic#	Admin¥City3	実行(0)	▶ 再度、適用するには、「実行」ボタンを押すだ
ファイルの変換			49700(0)] けです。
変換元ファイル名	City8.component.html			
変換先ファイル名	City8.component.sm.html	作成済 回家換処理実行	VSCodeで比較	
変換ルールID	2 サンブル CARD変換			
CSSファイルの作成				
作成ファイル	./City3.component.css	作成清 🗌 CSS7r 化作成		
テーブル高さ	300 PX			
	☑CSS更新済			
TSファイルの定義				
現在のTemplate定義	./City8.component.html		変更を戻す	
変更するTemplate定業	隽 ./City8.component.sm.html	相違 「ISの定義を変更		
	✓ CSS定義済み		自動的に	ニチェックが入ります。
t. T	ログラムの制限:変換ルールはサンブル提供した	もののみしか選択できません。		
変更するTemplate定量	 ▲ 」、/City3.component.sm.html ✓ CSS定義済み ログラムの申録:実決ルールはサンブル提供した 補雑なフォームの場合、想定した実践結果にな 		自動的に	∟ ニチェックが入ります。

3 MAGIC開発業務の生産性向上のために

今後もアプリケーション開発の生産性向上のために有効な機能を盛り込んでいく予定です。 しかし、WebClientについては豊富な経験があるわけではありません。 ご意見、アイデアなどがありましたら、ぜひ下記の宛先までお寄せ頂けると嬉しいです。

例)

。 Bootstrapを使用したテンプレート(HTML)変更の具体例について 有用なnpmパッケージの利用とそのコーディングの自動化

送付先

Email: <u>support@eternaldesign.jp</u>タイトルに「ソース管理ツール」を付加していただけると有難いです。 担当: 株式会社エターナルデザイン 向井田

また、ソース管理ツールを利用した各種マイグレーションサービスを行っています。 お気軽にお問い合わせください。

ー般的なマイグレーション 過去のMAGICバージョンからの移行 SQL化 基本色番号やフォント番号の置換

リポジトリ分析 任意のレポート作成 ソースの一括更新処理

ソース統合/共通化 複数のプロジェクトに分散したデータの統合(内部項目IDの置き換えを含む) 複数のプロジェクトの統合 プロジェクトからの機能切り出し/部分的な移植 コンポーネント化

その他